

吉田 (東海大札幌高) 3000メートルV

少年男子B 円盤投げは大垣 (厚真高)

国スポ

■SAGA2024国スポ (14、15日・SAGAスタジアム) 最終日の15日は、陸上の少年男子B3000円で吉田星 (東海大札幌高) が優勝した。男女混合16000リレーでは、北海道 (森周志、臯山このみ、福村優大、菊地妃華) が8位入賞した。

男女総合 (天皇杯) は、東京が3年連続で優勝した。北海道は11位だった。第10日の14日は、陸上の少年男子B円盤投げで、大垣尊良 (厚真高) が優勝した。カヌーは、少年男子スプリント・カヤックシングル (2000円) で益田然 (南富良野高) が4位に入った。

●陸上 (佐賀県SAGAサンライズパーク陸上競技場) 【少年男子B】▽3000円決勝 ①吉田星 (東海大札幌高) 8分7秒12 【男女混合】▽16000リレー決勝 ⑧北海道 (森、臯山、福村、菊地) 3分25秒48

●陸上 (佐賀県SAGAサンライズパーク陸上競技場) 【少年男子B】▽円盤投げ決勝 ①大垣尊良 (厚真高) 50.51秒 【少年女子A】▽3000円障害決勝 ⑥臯山このみ (立命館慶祥高) 42秒43 【男女混合】▽16000リレー予選 ②組 ②北海道 (森、臯山、福村、菊地) 3分23秒49 決勝進出

●カヌー (佐賀市富士しやくなげ湖水上競技場) 【成年男子】▽スプリント・カナディアンシングル (2000円) 決勝 ⑥數碧透 (自衛隊、樽朝里中出) 42秒4.47

【成年女子】▽スプリント・カナディアンシングル (2000円) 決勝 ⑥大橋玲奈 (NTSロジ、苫南高出) 55秒9.30 【少年男子】▽スプリント・カヤックシングル (2000円) 決勝 ④益田然 (南

先頭譲らずレース支配 吉田

レースを支配して勝利をもぎ取った。「遠慮は要らない。転ばなければ大丈夫」。陸上の少年男子B3000円決勝、吉田はとにかく突き進んだ。スタートから先頭に立った。ペースを落とさず、2000円を通過するころには先頭集団は4人となり、さらにギアを上げてふるいにかけた。昨年の全国中学大会 (全中) 王者の底力を見せつけた。

最後の1周で唯一、吉田についてきた稲垣 (神奈川) は今年の全中覇者。最後の2000円はブッドヒートとなったが、気力で逃げて新旧の全中王者対決を制した。「もう着いてこない」と思いながら走りまわったと笑う。

小学校までサッカーをしており、走力や持久力を生かそうと、札上野幌中時代に陸上競技を始めた。中学



少年男子B3000円のゴール手前で、デットヒートの末、優勝した東海大札幌高の吉田星 (左) 〓熊谷泷太撮影